

蕭然一詩空 茲之

之候

等履差少佳臨奉

如し 諸者並ての老癖

あらしむらひひし 團手利

行ふも 滞りなく 第一節

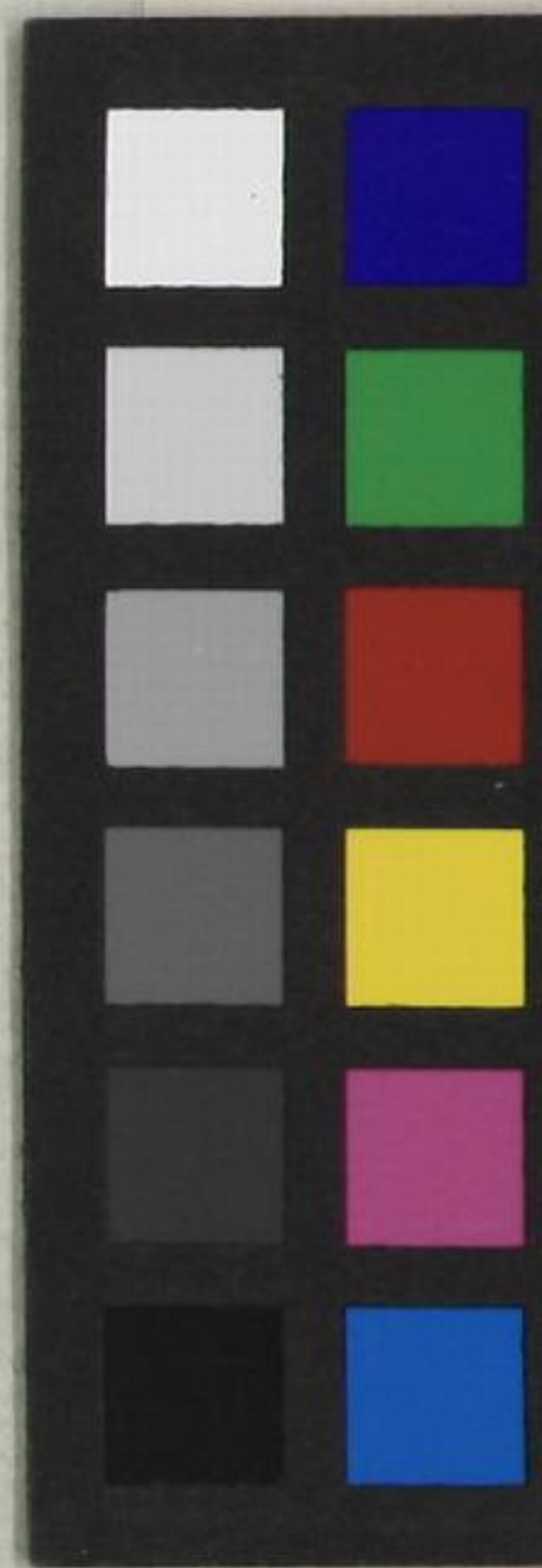
の完成を告げたるは

全く貴下の努力に

よりりと深く感謝

の意を表した

茲に為二期刊行の意





の意をを表し

茲に為二期刊行の意

手あらしせしむるよしを

の通り替助多様貴

諭し趣奉承取立

に於ては極めて先禁と

もあらしむるを

さかく健康を傷れ

既に前期の評議を

ても欠き奉承を

ふり懼がせし

今期に於ても評議

に十分出席せず

来なく臨候之

上へ、二付今期に於ける



来なく 璠 駿之 あり こと  
と 八、二 付 今 期、 於 け 万  
評 議 欠、 未 年、 以 欠  
除 奉 新 成、 乍 併 激  
力 の 及 亦 限 り、 以 信 ち 分  
あ 力 可 世、 乃 其 何 存  
少 許 交 じ 下 交 奉 岸 忽  
航 以 以 物 得 貴 之 交  
字 々 々 々 々 々

二月十五  
六孔成

市 嶋 聖 土 屋

研 如



